



プレスリリース

アトラシアン、ThinkTilt を買収

ノーコード・ローコードで ESM ソリューションを強化しチームを横断した変革を推進

【2021 年 4 月 22 日】チーム・コラボレーションと生産性向上を支援するソフトウェア企業の[アトラシアン](#)（NASDAQ: TEAM）は、オーストラリアのブリスベンに拠点を置く ThinkTilt を買収しましたのでお知らせいたします。ThinkTilt は、ノーコード・ローコードで Jira ファミリー製品向けにフォームを簡単に作成することができるアプリである ProForma を開発・提供する企業です。アトラシアンではこれまで、アジャイルの採用や職場環境のデジタル化を推し進めてきたすべての企業が直面するサービス管理の課題解決に継続的に取り組んできました。この度の買収によって、その取り組みのさらなる強化を目指します。

ThinkTilt は、Atlassian Marketplace（アトラシアン・マーケットプレイス）で成功を収めているパートナーであり、同社の開発する ProForma は 700 以上の企業で利用されています。事業部門やバックオフィスなどの非 IT 部門を含むあらゆるチームが、卓越したサービスを社内他部門やメンバーに対して迅速に提供できる仕組みを、IT 部門が素早く、簡単に用意することを可能にします。ProForma の技術を Jira Service Management に統合することで、エンタープライズ規模のサービス管理を大規模に提供し、すべてのチームが高速に稼働できるようになります。

この統合により、IT 部門は企業内のあらゆるチームに対してより迅速に優れたサービス体験を提供することが可能になります。動的なカスケードフォームを使えば、リクエスト申請者にとって必要なフィールドのみが表示されます。また、フォームの高度な検証機能によって、リクエスト対応に必要なすべての情報が適切に収集・入力チェックされた後、自動的に適切な担当チームに割り振られます。さらに、ノーコード・ローコードのエディタ、24 言語対応、ベストプラクティスを包含した 300 以上のフォームテンプレートを使用することができるようになります。

ThinkTilt の買収は、対話型チケット管理システムの Halp や、資産・構成管理の Mindville Insight、オンコール管理の Opsgenie の買収に続いて Jira Service Management を強化するものです。また、これまでアトラシアンは、Confluence と連携したナレッジ管理機能やカスタマイズ性の強化、管理権限のユーザー委譲によるサービス管理の民主化など、IT サービス管理（ITSM）やエンタープライズサービス管理（EMS）分野に継続的に投資してまいりました。今後もエンタープライズ規模で展開可能なサービス管理ソリューションを強化し、あらゆるチームが高速に稼働できる世界を目指して製品やサービスの開発を進めてまいります。

本件に関する詳細は、[アトラシアンブログ](#)をご参照ください。

###



アトlassianについて

2002 年豪州シドニーで創業。あらゆるチームの可能性を解放することを企業のミッションとし、チームによる作業の整理、議論、完遂を支援するコラボレーションソフトウェア開発を手掛けています。アトlassianの顧客はゼネラルモーターズ、ウォールマートラボ、バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ、リフト、スポティファイ、NASA など 19 万社を超えています。顧客企業はプロジェクト管理、コンテンツ作成・共有やサービス管理ツールを利用することでチーム・コラボレーションを実現し、期限内に質の高いサービスや製品を提供することができます。主要製品はソフトウェア開発チーム向けのオンプレミスおよび SaaS プロダクトで、Jira Software（プロジェクト管理）、Confluence（コラボレーション）、Trello（タスク管理）、Bitbucket（ソースコード管理）、Jira Service Management（ITSM/ESM）などがあげられます。日本法人のアトlassian株式会社は 2013 年の設立以来、日本語によるお問い合わせ対応や技術サポートの提供、マーケティングなどの業務を行っています。